

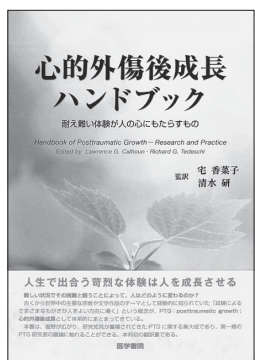
今月の3冊プラス1



社会福祉の動向 2014

編：社会福祉の動向編集委員会
発行：中央法規出版 TEL：03-3379-3861
定価：本体 2400 円＋税

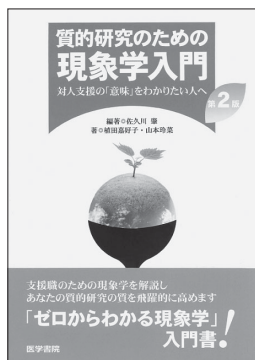
日本の社会福祉制度の各分野の概容を解説した定番書。2014 年度版では、動向が注目される生活保護制度の見直しや生活困窮者自立支援法の創設などについても網羅する。少子高齢化が進行し、社会の変化が予想されるなか、今後の福祉のあり方を考えるために必携の 1 冊。



心的外傷後成長ハンドブック 耐え難い体験が人の心にもたらすもの

編：L.G. Galhoun／R.G. Tedeschi
監訳：宅香葉子／清水研
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 5000 円＋税

試練は人を成長させる。古来より経験的に知られていた概念が、「心的外傷後成長」として医学的に検証され始めたのは近年のことである。困難や危機を乗り越え、また、ともに生きるために。災害や疾病、喪失体験者を導くための最新の知見とさらなる理解を得ることができる。

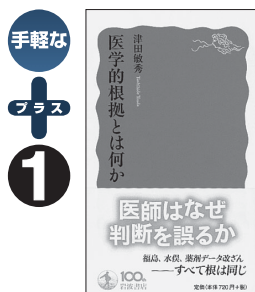


質的研究のための現象学入門

対人支援の「意味」をわかりたい人へ 第 2 版

編著：佐久川肇
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 2600 円＋税

質的研究の目標は「よりよい支援に貢献する」ことと言える。人との関わりは医療、看護、福祉にとって根幹を成すものである。対象者の固有の体験を研究者の視点から解き明かし、「よりよい支援」につなげるため、現象学初心者へ贈る支援研究入門書である。



医学的根拠とは何か

著：津田敏秀
発行：岩波書店(岩波新書) TEL：03-5210-4000
定価：本体 720 円＋税

「科学的根拠(エビデンス)にもとづいた医学」とは？ 医学研究の舞台は今や実験室から病院や地域社会へ。人間社会にとってよい効果をもたらす手法を迅速に導入するために、公衆衛生の担い手は、人間という集団を対象として事例を数量化・集計し、統計学を用いて分析する「数量派」をめざすべし。